

★輝いています

● 鈴木 ^{さわみ} 佐和美さん (根崎町)



2002年ミス七夕コンテストで見事クイーン の栄冠を獲得

8月2日(金)から4日(日)まで開催される第49回安城七夕まつりのミス七夕クイーンに、鈴木佐和美さんが選ばれました。「自分の名前が呼ばれたとき、冷静だったねと皆に言われましたが、実はびっくりしすぎて、頭の中が真っ白だったんです」と発表の瞬間を振り返る鈴木さん。本当は涙をこらえるのに必死だったそうです。

「20歳という人生の節目で、いろいろなことにチャレンジしてみたかった」というのが応募の動機。そして、「本当にうれしかった」と喜びを実感したのは、両親や姉、友達から「おめでとう」の言葉をもらったとき。なかでも現在働いている東端町の飲食店では、「店に華ができた」と自分のことのように喜んでくれたそうです。

昨年までは、楽しむ立場だった七夕まつりも、今年は重要な役目を担うことに。「華やかな飾りで彩られた街を、たくさんの人に見て楽しんでもらいたいです。私たち5人全員で力を合わせてがんばりますので、ぜひ七夕まつりにお越しください」とさっそくミス七夕としてのPR活動をスタートしてくれました。



野草歳時記

136



クサギ

〔臭木 クマツヅラ科〕

枝葉に悪臭があることからこの名がつき、「常山木」とも書きます。7～9月ごろ咲く白い花は、よい香りを一面に漂わせます。

元が筒状で先が細く、5つに分裂し、長いしべが突き出す独特の形の花で、紫色の

色がくとのコントラストも美しく、果実もまた愛らしいです。変種にアマクサギ、ジョウロウクサギがありますが、ともに悪臭はありません。

写真・文／三井亨氏<城ヶ入町・安城市文化財保護委員>

安城の野鳥

159



漢字では「京女鶴」と書きますが、姿を見ると何となく納得してしまいます。主に海岸部で見られる旅鳥で、干潟の石ころを短くちばしでひっくり返し、その下に隠れている虫などを食べているため、英名では“turn stone”と呼ばれています。市内では福釜町で2羽が観察されていますが、内陸部で観察されるのはまれです。

写真・文／杉山時雄氏<桜井町・西三河野鳥の会会員>



キョウジョシギ — シギ科 —